

とよた世間遺産認定候補一覧

通番	種別	名称	所在地	定義/ 推薦理由・物語	備考
1	コト	今は昔の鉄の道・鉄道廃線跡	市内	名鉄三河線(猿投-西中金-足助)、挙母線、トヨタ関連引込線(土橋駅、上郷)、窯業関連引込線(枝下)など、市内各所に残る鉄道廃線跡(実現しなかった計画路線も含む)。輸送や交通の変遷、地域の生活の歴史を物語る遺構としても興味深い。廃線跡が形作る独特の景観や醸し出す雰囲気も、単純にそのままの姿で美しかったり面白かったりする。橋梁やトンネル、架線用の柱など安全上保存し難い構造物もあるが、できるだけかつて鉄道が通っていたことを伝えていただきたい。	リスト化
2	モノ	何を物語るのか?・謎の造形物	市内	なぜここに、誰が、何のために、どうしてこの形なのか、など、それを見たときになにか違和感を持つ造形物(基本的に石やコンクリート製などの恒久的なもの)。人が形作ったものならば、何かの意味はあるはず。その意味が失われてしまった存在で、その意味不明さを面白いと捉えられる造形物を認定する。ただし、認定委員会において第三者が不快感や恐怖感を感じるとされたものはリストには入れない。	リスト化
3	モノ	どこかで誰かが称えあう・地域有志建立の個人顕彰碑	市内	地域の人たちや団体、有志の集まりが建てた個人を顕彰する碑(主に石碑等の恒久的な材質を想定。仮設的な看板類は除く。創立者を顕彰する企業等の碑を除く。反社会的でなければ何を顕彰しているかは特に問わない)。地域に貢献した人や名士、有徳人など、その人の事績だけでなく、建立した地域の人たちの想いや時代性、地域性などを知ることができる。	リスト化
4	コト	自然と人工の不思議な調和・構造物による妙な景観	市内	砂防ダムや擁壁、岩の接着工など、人工の構造物が周囲の自然や生活風景となじみ、面白いと思わせる「妙」な景色を作り出しているところ。基本的に構造物単体では評価しない。花崗岩地帯で山地も多い豊田市域には、斜面の崩れや落石、土砂災害などを防ぐために山肌に擁壁や岩の接着などが施された場所が数多くある。その中には、もともとの自然と人工の構造物が「妙」に面白い景観を作っている場所もある。豊田市の地勢と人と自然の相互作用を示すものとして、独特の景観として意識してみたい。ただし、認定委員会において第三者が不快感や恐怖感を感じるとされたものはリストには入れない。	リスト化